瑞穂区　井戸田学区	住民交流	健康・福祉	青少年育成	環境・美化
	防犯・交通安全	防　災	歴史・文化・芸術	その他

「井戸田学区名所・旧跡めぐり散策の径ウォークラリー」の継承について

【井戸田学区】

■世帯数：3,486 世帯
■人　口：7,292 人
■面　積：0.655ｋ㎡
平成 24 年 4 月 1 日現在

1　活動・取り組みの内容

- 平成 22 年の名古屋開府 400 年記念事業で地域に眠る歴史を掘り起こして公表する“地域探検隊”を結成して「津賀田神社大祭　井戸田大山の山車・お囃子の由来」を調査した。昔からある名所・旧跡めぐりにその結果を盛り込み、ウォークラリーに反映した。
- 井戸田小学校を発着点として学区全域を巡る全長 3.5km を歩く。参加者数は約 200 人。

【住民への PR 方法】

井戸田学区連絡協議会の年間行事として提示

【アピールポイント】
約 1,000 年も前から続く重い歴史が井戸田の地に眠ることを、語り継ぐことは意義深いことである。

2　きっかけ、背景

井戸田学区では昭和 56 年４月に、当時の井戸田出身の市会議員が昔から伝わる名所・旧跡めぐり散策の径を開き、昔からある名所・旧跡がお年寄りを中心に言い伝えられてきていて、子ども会のウォークラリーとして体育委員会による交通安全のバックアップで進められてきた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員

計約 200 人

(2) 運営協力

調査結果やウォークラリーで得た情報や意見をホームページ「井戸田学区地域探検隊へようこそ(http://idotatankentai.main.jp/)」に反映。

4 実施のスケジュール

S56 年 4 月	「井戸田学区名所・旧跡めぐり散策の径」が開かれる
▼	
その後	井戸田学区体育委員会・子ども会でウォークラリー実施
▼	
H22 年 9 月	熱田文化小劇場で地域探検隊の調査報告
▼	
11 月	「新ウォークラリー」として改訂実施
▼	
H23 年 3 月	名所旧跡に掲げられていた歴史標識を新調し取替
▼	
11 月	新標識をたどってのウォークラリー実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- 住民間の交流が深まった。井戸田学区連絡協議会、子ども会、体育委員会、老人会の交流の深まりができた。

(2) 苦労した点

- 活動の担い手が不足。歴史史実を子どもたちに分かりやすく言い伝えるのに苦労する。

(3) 今後の課題・展望

- 昔から言い伝えられてきた史実の話ができるお年寄りがだんだん少なくなり、継承が難しくなってきた。
- 名所・旧跡めぐりの説明が作成されたころから変更されておらず、子どもたちになじみのある言葉で作り変える必要があると感じている。
- 毎年継続して子ども会の支援者が、新鮮味を持って史実を言い伝えて行くことに意義があるため、活動を継続していきたい。

(4) メッセージ・アドバイス

- 井戸田学区には、井戸田小学校の校歌にも取り上げられている古くからの史実があり、地域の人々の心の絆として大切に継承していきたい。